

島の未来は自ら築く

— 島根県海士町の挑戦 —

☆☆☆ 第35回政策研究セミナーのご案内 ☆☆☆

島根県海士町は、日本海に浮かぶ隠岐島にある離島のまち。厳しい条件の中、島に埋もれた資源を有効に活用し、海、潮風、塩をキーワードに「島じゃ常識！サザエカレー」や「隠岐海士の岩ガキ・美香」、「隠岐牛のブランド化」等の商品開発に努めるとともに、Iターン、Uターンの優秀な人材を受け入れ、行政と地域が手を携えて地域づくりを推進しています。この「ピンチはチャンス」と考えた「小さな島の挑戦」は全国から注目を浴びています。
地域の自立、まちの活性化には何が必要か？海士町の取り組みに学びます。

- 日 時：平成24年11月9日(金) 14:00~16:15
- 会 場：愛媛県身体障害者福祉センター(松山市道後町2-12-11) ひめぎんホール北
- 定 員：100名
- 参 加 費：無料
- 申 込 先：公益財団法人 えひめ地域政策研究センター 担当 土岐・渡部
電 話 089-926-2200 電子メール info@ecpr.or.jp
FAX 089-926-2205
- 申込締切：平成24年10月26日(金)
- そ の 他：会場は駐車できませんので、ご来場には公共交通機関をご利用いただくか、周辺駐車場をご利用ください。

第1部：講演 「島の未来は自ら築く」 - 島根県海士町の挑戦 - <14:00~15:20>

- 講 師：大江和彦(おおえ かずひこ)氏(島根県海士町産業創出課長)



大江氏は産業創出課長として、自ら企画し行動するキーパーソン。
地域資源を有効に活用し、「サザエカレー」や、画期的な冷凍システム「CAS製品」など、「島まるごとブランド化」を掲げ、様々な新商品を開発、新しい雇用を生み出す一方、島外から優秀な若い人材の移住・定住を促進するなど、行政と地域が一体となった取り組みを進めている。

第2部：対談 「地域活性化の条件」 <15:30~16:15>

大江和彦氏×宮崎幹朗氏(愛媛大学法文学部長、当財団理事)

政策研究セミナー「島の未来は自ら築く」参加申込書 FAX 089-926-2205

団体名・社名			
所在地・住所			
所属・御役職	御 名 前		
T E L	F A X		
電子メール			
セミナー後講師との交流会を開催 (道後友輪荘 17:30~ 会費4,000円)	交 流 会 に	参加する ・ 参加しない	

※お申込みに関わる個人情報は、セミナーに関する業務や今後のイベントの案内にのみ利用いたします。